

しゃまよう第8号

“地域に信頼され 安心を提供できる 社協を目指して”

発行元 社会福祉法人和泊町社会福祉協議会

発行日 平成30年 9月25日

社会福祉協議会では、次の役員体制の下、「誰もが安心して暮らせるまち“和泊町”」の実現に向け、住民主体による地域福祉の充実と組織化、社会福祉事業の発展に全力で取り組んで参ります。

《役員紹介》 H30,08,01 現在

(敬称略)

会長	長田 榮利	有識者	評 議 員			
副会長	前 幸 貴	有識者	伊集院周克	区長会代表	玉里 和 明	民児協代表
理 事	名 島 勝 一	施設代表	林 一 孝	区長会代表	島田香代子	長寿クラブ代表
	宗 武 彦	教育委員代表	安 田 克 彦	区長会代表	村 田 行 夫	障害者団体代表
	田 代 吉 信	区長会代表	亘 和 也	区長会代表	外山恵美子	母子会代表
	盛 泰 夫	有識者	島 富 栄	農協代表	佐々木よし子	保護司会代表
	南 俊 美	行政代表	南 好 二	商工会代表	吉 峯 実 文	遺族会代表
監 事	上 原 清	有識者	葉棚美津乃	女性団体代表	東 敏 仁	行政代表
	白 川 秀 一	有識者	安 徳 建 二	NPO代表	理事7名、監事2名、評議員15名	

評議員選任・解任 委員会	上 原 清 (監 事)	谷山 俊秀 (選挙管理委員会)	村山 稔 (事 務 局)
-----------------	---------------	-----------------	--------------

第三者委員	石原 純子 (民児協代表)	中屋 吉右 (福祉行政経験者)	今井 フサ子 (学識経験者)
-------	---------------	-----------------	----------------

～町民の皆さまのご理解とご協力をお願い致します～

《地域福祉活動》 ～生活支援サービスあくネット～

利用者に寄り添い 皆さまとともに・・・あくネット6周年！！

平成24年7月から丸6年！！“住民だれもがつながり 支え合って すみよいまちに”をスローガンに発足した生活支援サービス「あくネット」

昨年度末には累計活動件数738件になりました。

住民自らが主体となって立ち上げたこの活動は、介護保険制度の改正もあり、地域から、より求められる活動となりました。これからも、高齢者や障がい者などの皆さまが、住み慣れた地域で安心して生活していけるよう取り組んでまいります。

今後とも『笑顔とコミュニケーション』を第一に！活動していきますので、活動へのご理解・ご協力をよろしくお願いたします。

随時、協力会員を募集しています。興味関心のある方は、ぜひ社協事務局までご連絡下さい。



《地域福祉活動》 ～介護予防サポーター養成研修会～

地域で自主開催されている「いきいきサロン」や「介護予防教室等」での体操やレクリエーション、その他活動を支援するサポーターの養成を目的に開催した研修会では、認知症等に関する座学、移動介助の方法やAEDの使用方法など、日頃の生活にも役立つ内容を学びました。

介護保険制度改正により、介護予防の担い手として、地域住民への期待度は高くなっています。



《ボランティアセンター》 ～G・C大作戦 & Let's スポーツごみ拾い大会～

沖永良部島も『奄美群島国立公園』に指定され、それぞれの地域（集落）で生活する子どもから高齢者までの住民が地域ぐるみで環境美化・保全に取り組む機運を高めることを目的として実施した「G・C（ゴミ・クリーン）大作戦」を実施しました。10団体 延べ259名のご参加をいただき、あらためて地域への愛着が高まったのではないのでしょうか？ 「世界遺産」の登録に再挑戦！

また、「花の島沖えらぶジョギング大会」に島内外から参加される皆さんに、気持ちよく走っていただきたい！と、チーム対抗による「Let's スポーツごみ拾い大会」を開催！

民生委員児童委員協議会やスポーツ推進員などの団体やスポーツ少年団、部活の仲間など、19チーム95名の選手が、ジョギング大会コースのゴミ拾いをし、心地よい汗を流されていました。



《訪問介護事業所》

利用者が、安心して在宅生活を継続する為に、自宅を訪問し計画に沿って必要な援助を行っています。

身体的な介助や自立を目指し利用者と一緒に調理などを行う「身体介護」、家事全般の援助を行う「生活援助」、その他に移動困難な方と病院受診や買い物・金融機関などへ同行し援助するサービスなどがあります。

月1回のミーティングや勉強会において、情報交換の場を設け、利用者やその家族の要望などを職員間だけでなく、関係事業所でも周知し、問題点の早期対応へ繋げ、これからもより良いサービスの提供を心掛けた支援を目指していきます。



《通所介護事業・元気アップ教室事業・認知症対応型通所介護事業



◆勝敗より笑いの「合同運動会」の様子

3日間の運動会！利用者の皆さん一人ひとりの普段以上の頑張りとお顔が印象的でした。ご家族の応援に、大ハッスルされている姿も。今年の運動会も大いに盛り上がりましたよお～



◆豪華賞品？忘年会&クリスマスパーティの様子

「この行事を終えないと、年を越せないっ！」忘年会は、利用者の皆さまが主役！！カラオケも踊りも楽器演奏まで、利用者の皆さまが、日頃の活動の成果を披露しますっ！最後に待っている大抽選会は、「1等を当てたい・・・。」と、手を合わせて祈る利用者も！

《障害者就労支援施設さねん》



生活介護事業・地域活動支援センター事業》

◆毎年恒例の浴衣祭りの様子

“着付けにお化粧 いつもより笑顔が一杯”今年も1週間毎日開催し、浴衣を着て写真撮影に「盆踊り」をして、夏を満喫しています！



◆集落とはちょっと趣の違う「合同敬老会」の様子

“利用者・ボランティア・職員が”外部からのボランティア団体の演芸グループに3日間入れ替わりで、日頃の練習の成果をご披露していただきました。

利用者からは、「最高に楽しかった」「また来年も参加したい」と、嬉しいお言葉をいただきました。

毎年、ボランティア団体の皆さまには、素晴らしい演芸とお顔をご提供いただき、感謝 感謝です。



島内外の多くの皆さまから園芸や紙すき・木工やエコクラフト等のご注文、ご購入をいただきました。第四日曜日開催される「みへでいろ市」や「農業祭」への出店も行い、多くのお客様より、大変ご好評いただいております。

各製品の品質も年々向上し、木工では卒業記念の看板製作といった記念品製作のご依頼もいただけるようになり、一層の技術向上と新たな製品開発に向け職員と利用者が協力して取り組んでいます。今後も利用者と地域に寄り添い、より多くの皆さまに『さねん』を知ってもらえるように頑張っていきます。

《わどまり保育園》 ⑧ 保育理念 ～瞳で感じる保育園～

わらいあい となときも まあるいところで りかいする

日々の保育や年間の行事を通して、子ども達一人ひとりの成長を、間近に感じることができました。また、社協の保育園として、20+1周年という事で、シンガーソングライターのミトカツユキさんを招いて、五感再生ミニライブを開催し、子ども達や保護者の皆さま、関係者の皆さまが、一緒に歌い、踊り、笑い、お祝いムードを大いに盛り上げました。

今年度より、保育理念を一新。これからも子ども達の視座に立ち、理解を深め、一人ひとりの心を育み、今後も地域住民の子育てのお手伝いができるよう、職員一同、力を合わせていきたいと思っておりますので、温かく見守って下さい。



《子ども療育センターのびのび》 “子どもたち1人ひとりを大切にのびのびと育てほしい”

H29年度も、子ども一人ひとりの成長段階に合わせ、絵や文字カードを使った視覚的な支援、ルールやマナーの確認、個別課題等、より丁寧な個別支援を取り入れ、活動を進めてきました。

また年2回（5月・11月）のアドバイザーの先生による個別相談会や、毎年8月には“親子のつどい”を開催。卒業生の保護者、関係機関の方々との情報交換等を行い、子ども達を中心に関わる皆で1人ひとりの成長やサポートについて考えています。

“将来、子ども達ひとりひとりが地域の一員としてイキイキと生活してほしい”を大きな目標にし、今年度も子ども達と一緒に笑顔いっぱい活動を進めたいと思っております。



～親子のつどい・情報交換会の様子～

《居宅介護支援事業所》

介護を必要とする方が住みなれた地域や自宅で、安心して生活ができるよう、日常生活や介護等に関する様々な相談に応じ、必要な介護サービスや地域資源の活用を支援しています。

サービスを利用することで在宅での生活が続けられること、さらに介護度の重症化の予防を目的としています。安定した生活を送り、状態の維持が図れている方もいらっしゃいますが、その反面病気や骨折等により、重症化して入院や施設入所になる方もいらっしゃいます。また、独居の高齢者も多く、サービスだけで生活を支援することが困難な方など様々な方々の支援をさせていただいております。利用者の皆さまがその人らしく、望む生活が続けられるように、今後も支援していきたいと考えております。



《特定・障害児相談支援事業所》

障害を持った方々の在宅での生活支援や有する能力を生かしていくための就労支援施設での訓練など、障害福祉サービスを適切に利用していただくための相談援助と計画作成をしています。また、発達や対人関係において気になることや生活のしづらさを感じるお子様に対して、療育を受けるための相談・計画作成をしています。

障害の有無に関わらず、地域で安心して生活できるよう支援していきたいと考えております。

社協のひろば

《日本赤十字社 鹿児島県支部 和泊町分区》

例年5月は、日本赤十字社の会費募集月間となっております、町民の皆様にはご協力をいただきましたことを、心より感謝申し上げます。

会費につきましては、日本赤十字社の取り組む被災地等での救援活動や被災者への救援物資となります。また、救急法などの普及啓発活動に活かされます。

今年は、7月に西日本を襲った豪雨災害や日本各地でゲリラ豪雨など大雨のニュースを毎日のように見かけます。本町でも台風が接近する頻度が高くなることが予想されます。今一度、ご家庭において、避難所の把握、避難経路の確認を話し合ってみてはいかがでしょうか？

また、非常用の避難バック等の準備まで！**転ばぬ先の杖！備えあれば憂いなし！**です。

お知らせ

《沖永良部くらし・しごとサポートセンター》

生活全般の困りごとの『なんでも』相談窓口です。住民誰もがその人らしく地域で安心して暮らすことができるよう、課題の解決に向けて一緒に考え、それぞれの生活改善や就労支援計画を立てて、継続的に支援を行います。

《お問い合わせ》

沖永良部くらし・しごとサポートセンター（92-2299）までお気軽にご連絡下さい！

窓口相談：月～土 8：30～17：30 電話相談：年中無休（24時間対応）

平成30年度 日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償！！

ボランティア活動保険

全国200万人
加入！！

保険金額		Aプラン	Bプラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	1,400万円	
	後遺障害保険金	1,040万円 (限度額)	1,400万円 (限度額)	
	入院保険金日額	6,500円	10,000円	
	手術 保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
		外来の手術	32,500円	50,000円
	通院保険金日額	4,000円	6,000円	
賠償責任	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の各補償金額（保険金額）に同じ		
	葬祭費用保険金 (特定感染症)	300万円(限度額)		
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)		

年間保険料（1名あたり）		
タイプ	Aプラン	Bプラン
基本タイプ	350円	510円
天災タイプ ^(※) (基本タイプ+地震・噴火・津波)	500円	710円

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償します(天災危険担保特約条項)が、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な場合

- 清掃ボランティア活動中、転んでケガをして通院した。(ケガの補償)
- 活動に向かう途中、交通事故にあつて亡くなられた。(ケガの補償)
- 活動中、食べた弁当でボランティア自身が食中毒になって入院した。(ケガの補償)
- 家事援助ボランティア活動で清掃中、誤って花瓶を落としてこわした。(賠償責任の補償)
- 自転車でボランティア活動に向かう途中、誤って他人にケガをさせた。(賠償責任の補償)

● 後遺障害も
フルカバーなので
安心です！！

社会福祉法人和泊町社会福祉協議会

〒891-9112

鹿児島県大島郡和泊町和泊39-3 和泊町社会福祉センター内

電話：0997-92-2299 / FAX：0997-81-4114

mail: wa-syakyo@po4.synapse.ne.jp

ホームページ <http://wasyakyo.jimdo.com>